

の人生＝私の人生」と考えている親や上の世代が少なくないようだ。ミレニアル世代は、親が若いころに経験をすることで上に選択肢や様々な誘惑が増えたことにより、結婚は以上の次になりがち。よって、中国もここ数年、晩婚になっているという。しかし、親からしたら、20代の早いうちに結婚をして、子どもを持つのが当然と考えている。このように、子どもの恋愛、結婚に口を出してくる親を持つミレニアル世代も存在するのだ。親の主観で人生が決められてしまいがちなミレニアル世代とその親の関係は、日本以上に複雑といえる。などなど、中国のミレニアル世代は、歴史的角度から見ても、私たちが想像する以上に、上の世代とはかなりの違いがあるといえる。

ここで紹介したのは、あくまでも、私自身がミレニアル世代を取材したり、今回、招聘しているアーティスト、演出家、ミュージシャン、ファッション・ディレクターたちと接

したり、中国のテレビ番組やネットの情報を見たりして感じたことであることをご理解いただきたい。

いつも思うのは、「中国」というのは当然だけれど、一言では語れないということ。広い土地、人口の多さ、生活や教育レベルの差異など、そこには、私たちの想像をはるかに超える「違い」が存在している。「中国ミレニアル世代」もしかりだ。それでも、まだまだ可能性に溢れた中国だからこそ、中国ミレニアル世代にはどこか期待をしてしまう。きっと「何か」を見せてくれるんじゃないか、きっと「何か」を提示してくれるんじゃないかと。今回の中国特集から、その「何か」が見つければ、きっと未来は明るいのでは？ と大袈裟に考えながらも、その「何か」を見つけて、次に繋げられたら結構本気で思っている。皆さんも、是非、その「何か」を見つけて下さい。

特別協力: スーパー・デラックス 

## アジアシリーズとは？

アジアから毎年1カ国を選び、その舞台芸術、音楽、美術など、さまざまなアートを紹介する特集企画。2014年の「韓国」を皮切りに「ミャンマー」(FT15)「マレーシア」(FT16)と回を重ね、今回の「中国」で4度目の開催となる。現地のアートシーン、社会状況、歴史、文化にもとづいてキュレーションされた作品群は、アジアの同時代を生きる者同士の共通点と差異を伝えることはもちろん、多様な言語、文化を前提とする継続的な交流の基盤ともなっている。

フェスティバル/トーキョー実行委員会	野村 真	公益社団法人 日本芸術家演劇団体協議会 会長
顧問	能楽部	株式会社資生堂 名誉会長
名誉実行委員長	福原義春	豊島区長
実行委員長	高野之夫	公益財団法人新国立劇場運営財団 顧問
副実行委員長	福地茂雄	NPO法人アートネットワーク・ジャパン 顧問
	市村作知雄	フェスティバル/トーキョーディレクター
	小澤弘一	豊島区文化商工部長
	東澤 昭	公益財団法人としま未来文化財団 常務理事／事務局長
委員	尾崎元規	公益財団法人企業メッセ協議会 理事長
	熊倉純子	東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科 教授
	田中健宏	株式会社資生堂企業文化部 長
	鈴木敦子	アサヒグループホールディングス株式会社CSR部門 ジェネラルマネージャー
	鈴木正美	東京商工会議所豊島支部 会長
	永井多恵子	公益財団法人せたがや文化財団 理事長
	樋口文久	豊島区文化商工部文化デザイン課長
	岸 正人	公益財団法人としま未来文化財団 審議院設置準備担当課長
	滝池奈純子	公益財団法人としま未来文化財団
	あうるすぽっと	(豊島区立舞台芸術交流センター) 支配人
	米原晶子	NPO法人アートネットワーク・ジャパン 理事長
	蓮原円花	フェスティバル/トーキョー 事務局長
	河合千佳	フェスティバル/トーキョー 副ディレクター
	佐々木美津子	豊島区総務部総務課長
監事	福井健策	北澤尚俊 (骨董通り法律事務所)
法務アドバイザー		

フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局	廣川英司
ディレクター	市村作知雄
副ディレクター	河野千鶴
事務局長	蓮原円花
制作	十万重紀子、荒川真由子、砂川史織、松宮俊文、三平文乃、横井貴子、武田侑子、岡崎由美子、藤井友理、細川浩伸、長田崇史、岡宮章吾、山縣轟雄、横尾千穂
広報	堀久美子、神永真美
経理	米原晶子、平田幸来
事務	武井和美

技術監督	廣川英司
技術監督アシスタント	河野千鶴
照明コーディネーター	木下尚巳 (株式会社ファクター)
音響コーディネーター	相川 轟 (有線会社サウンドウィース)

アートディレクション	氏家啓雄 (有線会社氏家プランニングオフィス)
イラスト	naomi@paris.tokyo
ウェブサイト	竹下雅哉 (有線会社氏家プランニングオフィス)
ブックレット	藤旗 剛 (FLAJS)
当日パンフレット	小林 剛 (UNA)
海外広報・翻訳	ウィリアム・アンドリュース
物販	渡辺 洋
演出紹介執筆	鈴木理絵子
プログラム・コーディネート	横池広彦
中国プログラム・コーディネート	小山ひとみ
ウェブマガジン編集	島眞幸介

インタビュー 石川 優、井上 達、岩井美菜子、藤井理美、梅村真由、柴 卓然、方瀬りっか、北村治里、工藤 伸、栗山なつみ、グナレ吏、上岡啓泰、呉 芳園、小林礼乃、小林春華、澤みずき、鶴田真菜、寺田 蓮、西 菜津子、西本彩乃、野口明日香、能登登子、野本ひとみ、橋本 葵、林美沙希、嵯峨琴乃、宮岡夏希、村上瑛美、山本菜奈、山本菜穂、横見咲季

スペシャルサンクス 所サポーターのみなさま

主催 フェスティバル/トーキョー実行委員会  
豊島区／公益財団法人としま未来文化財団 / NPO法人アートネットワーク・ジャパン、  
アーツカウンシル東京・東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団)

オーブニングプログラム共催 国際交流基金アジアセンター  
アサヒグループホールディングス株式会社、株式会社資生堂  
協賛 外務省、公益社団法人日本芸術家演劇団体協議会、J-WAVE 81.3 FM  
後援 株式会社サンシャインシティ、チャコット株式会社、株式会社ヒューマックスシネマ

特別協力 株式会社サンシャインシティ、チャコット株式会社、株式会社ヒューマックスシネマ  
協力 東京商工会議所豊島支部、豊島区商店街連合会、豊島区町会連合会、  
一般社団法人豊島区観光協会、一般社団法人豊島産業協会、  
公益財団法人豊島法人会、池袋西口商店街連合会、  
特定非営利活動法人ゼファー池袋まちづくり、池袋西口公園活用協議会、  
南池袋公園をよくする会、ホテルメトロポリタン、  
ホテル グランドシティ、池袋ホテル会

宣伝協力 株式会社ポスターハリス・カンパニー、  
早稲田大学坪内博士記念演劇博物館、アップリンク

平成29年度 文化庁 文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業  
(池袋/としま/東京アーツプロジェクト事業、としま国際アートフェスティバル事業)

会期 2017 (平成29) 年9月30日 (土)～11月12日 (日)

フェスティバル/トーキョー17は東京芸術祭2017の一環として開催されます。



編集・発行:フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局 翻訳:小山ひとみ  
〒171-8031 東京都豊島区目黒5-24-12 旧豊和中学校4F TEL : 03-5914-5202 http://www.festival-tokyo.jp/

Festival/Tokyo Executive Committee  
Advisors: Man Nomura (Chair, Japan Council of Performers Rights & Performing Arts Organizations; Noh actor) Yoshiharu Fukuhara (Honorary Chair, Shiseido Co., Ltd.)

Honorary President of the Executive Committee: Yukio Takano (Mayor of Toshima City)

Chair of the Executive Committee: Shigeo Fukuchi (Advisor, New National Theatre Foundation, Senior Alumnus, Asahi Breweries, Ltd.)

Vice Chairs of the Executive Committee: Sachio Ichimura (Advisor, NPO Arts Network Japan; Director, Festival/Tokyo) Keichi Ozawa (Director, Culture, Commerce and Industry Division, Toshima City) Akira Touzawa (Secretarial Director, Toshima Future Culture Foundation)

Committee Members: Motoki Ozaki (President, Association for Corporate Support of the Arts; Corporate Advisor, Kao Corporation) Sumiko Kumakura (Professor, Department of Musical Creativity and the Environment, Tokyo University of the Arts) Toshihiro Tanaka (General Manager, Corporate Culture Department, Shiseido Co., Ltd.) Atsuko Suzuki (General Manager, Corporate Social Responsibility Section, Asahi Group Holdings, Ltd.) Masami Suzuki (Chair, Tokyo Chamber of Commerce and Industry Toshima) Takko Nagai (Chair, Setagaya Arts Foundation) Tomohisa Higuchi (Director, Cultural Design Section, Culture, Commerce and Industry Division, Toshima City) Masato Kishi (Manager, New Theater Opening Preparation Room, Toshima Mirai Culture Foundation) Naoko Hasuike (Toshima Mirai Culture Foundation; Executive Director, Ovispot Theater) Akiko Yoshikura (Representative, NPO Arts Network Japan) Madoka Ashihara (Administrative Director, Festival/Tokyo) Chika Kawai (Vice Director, Festival/Tokyo)

Supervisor: Mitsuko Sasaki (Director, General Affairs Section, General Affairs Division, Toshima City) Legal Advisors: Kensaku Fukui, Hisato Kitazawa (Kotō Dori Law Office)

Festival/Tokyo Executive Committee Secretariat  
Director: Sachio Ichimura  
Vice Director: Chika Kawai  
Administrative Director: Madoka Ashihara  
Production Coordinators: Akiko Juma, Nayuko Arakawa, Shiori Sunagawa, Toshifumi Matsumiya, Ayano Misan, Takako Yokoi, Yuka Takeda, Tumiko Okazaki, Yuuri Fujii, Hironobu Hosokawa, Takashi Osada, Shogo Shinomiya, Masao Yamagata, Chiko Yokoo  
Public Relations: Akiko Ogura, Mami Kamimago  
Accounting: Kamiko Tsutsumi  
Administrator: Akiko Itoehara, Sakii Hirata  
Ticket Administration: Kazumi Takai

Technical Director: Eiji Torakawa  
Assistant Technical Director: Chizuru Koeno  
Lighting Coordination: Naoki Kinoshita (Factor Co., Ltd.)  
Sound Coordination: Akira Aikawa (Sound Weeds Inc.)

Art Direction: Yoshio Ujije (Ujije planning office)  
Illustrations: naomi@paris.tokyo  
Website: Masayo Takehito (Ujije planning office)  
Booklet Design: Takeshi Furuhata (FLAJS)  
Program Design: Takeshi Kobayashi (UNA)  
Overseas Public Relations, Translation: William Andrews  
Merchandise: Jun Watanabe  
Japanese Writing (Production Pages): Riiko Suzuki  
Program Coordinator: Masahiko Yokobari  
Chinese Program Coordinator: Hitomi Oyama  
Online Magazine Editor: Taisuke Shimazaki

Interiors: Yu Ichikawa, Nagisa Inoue, Misako Iwai, Satomi Utsui, Mayu Umemura, Rong Zhouran, Rikka Kataze, Shiori Kitamura, Rei Kudo, Natsumi Kuriyama, Sara Gomare, Mana Kamioka, Hoon Go, Ayano Kobayashi, Haruna Kobayashi, Mizuki Sawe, Mana Tsuruta, Bin Terada, Natsumi Nishi, Ayano Nishimoto, Asuka Neguchi, Tamako Noto, Hitomi Nomoto, Aoi Hashimoto, Misaki Hayashi, Kotono Horikoshi, Natsuki Miyaoka, Emi Murakami, Ayana Yamamoto, Mai Yamamoto, Sakii Yokoi

Special thanks to the FIT Volunteer Supporters

Organizers: Festival/Tokyo Executive Committee, Toshima City, Toshima Future Culture Foundation, NPO Arts Network Japan (NPO-ANJ), Arts Council Tokyo & Tokyo Metropolitan Theatre (Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture)

Opening production co-organized by the Japan Foundation Asia Center  
Sponsored by Asahi Group Holdings, Ltd., Shiseido Co., Ltd.  
Endorsed by Ministry of Foreign Affairs, GEIDANRYO, J-WAVE 81.3 FM  
Special cooperation from SEIBU IKBOKUROHONTEEN, TOBU DEPARTMENT STORE IKBOKURO, TOBU RAILWAY CO., LTD., Sunshime City Corporation, Chacott Co. Ltd., HJMAX CINEMA INC.  
In cooperation with Tokyo Chamber of Commerce and Industry Toshima, Toshima City Shopping Street Federation, Toshima City Federation, Toshima City Tourism Association, Toshima Industry Association, Toshima Corporation Association, Ikebukuro Nishiguchi Shopping Street Federation, NPO Zephyr, Ikebukuro West Gate Park Management, Neighborhood of the Minami Ikebukuro Park, Hotel Metropolitan Tokyo, Hotel Grand City, Ikebukuro Hotel Association  
PR Support: Poster Hart's Company, Waseda University Tsushouchi Memorial Theatre Museum, UPLINK

Supported by the Agency for Cultural Affairs, Government of Japan in the fiscal 2017

Period: September 30th (Sat) to November 12th (Sun), 2017

## アジアシリーズ vol.4 中国特集

# チャイナ・ニューパワー

## —中国ミレニアル世代—

## Asia Series Vol.4: China “Chinese Millennials”

## 2017. 10.28 Sat - 11.11 Sat

FT Festival/Tokyo

## 「なかったものが、急に手に入る」を経験している中国ミレニアル世代

小山ひとみ (中国プログラム・コーディネーター)

多様性、自分勝手、迷い、エネルギー、衝動的、恐れない、遠慮せず発言と行動、テクノロジー、クリエイティビティー、夢追い人、孤独、疑い、依頼、理想、矛盾、自由、規則に縛られない、個性的、自立、尊重、ポストインターネット、焦燥、浮遊感、打ち壊したいという欲望、個人主義、未来、空虚、喪失

これは、私が日頃付き合ひのある北京や上海、東京など都市部で生活をする中国ミレニアル世代18名（今回、招聘しているゲスト数名も含む）に「自分たちの世代を形容してみてください」という質問を投げかけた結果だ。彼らには、思いつく語彙をいくつか挙げてもらった。中には「形容できない」という返事をしたミレニアルズも数名いた。前向きな回答と後ろ向きな回答。それは、どの世代にも必ずある。しかし、1996年から約20年間、中国や中国人と繋がりを持ってきた私は、「中国のミレニアル世代は、上の世代と何かが違う」という違和感を持ち続けてきた。その違和感は一切何なのか、私自身、もっと知りたいと思った。

2年前、2017年のアジアシリーズが「中国」と決まった時、「中国ミレニアル世代」をテーマにプログラムを組みたいと思った。それは、その「違和感」を皆さんと共有したいと思ったからだ。「違和感」と書いたけれど、ここではマイナスの意味ではない。とても前向きで、希望を感じる違和感。その違和感は、もしかしたら、これから日本と中国で一緒に歩いていける「何か」になるかもしれない、そういう「何か」を探したいと思った。

しかし、ミレニアル世代のなかには、経済面で親に頼り、別の手段がないから親や社会のいうままに生きざるを得ない、複雑なミレニアルズが存在するのも確かだ。

また、「伝統と現在の狭間で迷っている世代」でもあった世代」と言われている。中国でいえば、1976年に文化大革命が終焉し、1978年に改革開放、ちょうどそれ以降に生まれた世代に該当する。文化大革命という閉



2017

東京

芸術祭

Tokyo Festival 2017



とうりてん  
『**忒利天**』

“**Trayastrimsa**”

構成・演出・美術：**チェン・ティエンジュオ**  
Conceived, Directed and Stage Design by  
**Tianzhuo Chen**

11.10 Fri, 11.11 Sat  
あうるすぽっと



Photo: Gianarchy

今、皆さんはどんな気持ちですか？
私はすごく緊張しています。なぜなら、皆さんの気持ちが予測できないからです。日本は特別な場所で、文化的にはっきりとした個性があります。アングラが流行る一方、シャイで保守的な一面もある。ヨーロッパや中国の観客に慣れた私にとって、日本のことは良く知っているとも知らないとも言えます。

私の作品はアジアのカルチャーをベースにしているので、皆さんも共感してくれることと思います。そして、きっと分かるからこそ、ヨーロッパや中国のどの地域の観客よりも、皆さんは私の作品を理解してくれるだろうとも思っています。だから、私はより緊張してしまいます。一体、皆さんはどのような形で反応を示してくれるのでしょうか。

この作品を気に入ってくれたら嬉しいのですが、それよりも皆さんの素直な感想が気になります。本当はもっと早く日本で公演をしたいと思っていましたが、フェスティバルトーキョーにお招き頂いたことでその願いが叶いました。ありがとうございます。

今、私は緊張しながらも、とても楽しみにしています。

チェン・ティエンジュオ

チェン・ティエンジュオ **Tianzhuo Chen**

1985年北京生まれ。2009年セントラル・セント・マーチンズを卒業。10年チュルシー・カレッジ・オブ・アート修士課程修了。現在は北京を拠点に、ダンサーやミュージシャン、フランスのアートグループなどのジャンルを超えた協働作業を続ける。17年にはウィーン芸術週間やドイツの世界演劇祭へも招聘されるなど、世界的なアーティストとして注目されている。

『**恋の骨折り損**

—空愛①場—』

“**Love’s Labour’s Lost**”

作・演出：**スン・シャオシン**  
Written and Directed by  
**Xiaoxing Sun**

10.28 Sat - 10.29 Sun  
スーパー・デラックス

ノンノンと彼女の親友は、仕事に行かず家にいることを好む。あたかもテネシー・ウィリアムズの『ガラスの動物園』に出てくるローラのように、アクセサリーやシールなどを大切にしている。色んな方向からのカメラやスクリーンに対して、べちゃくちゃと人に分からない話をし、時に進化して、ユニコーンの角が生えて身体が発光するまで決まったポーズや表情をつくる。だけど、それはプラスチックのようにもろい。

ノンノンのパソコンの壁紙はピンク色の富士山だ。彼女はタオバオで「中国製」の日本ブランドの商品を買いたさるけれど、富士山は買えない。2人は中国の異邦人で、自分たちを収納ケースに入れて東京に送り届けるなんてことを空想している。彼女たちは著作権のないコピーガールにすぎないのだ。

パソコンの異常終了を告げるブルースクリーンは、パヴロ・ネルエダの詩にある『青い夜』と同じようにこの世に降りてきて、ノンノンたちに「恋の骨折り損」をさせるが、彼女たちは「Honorificabilitudinitatibus」なのだった。

スン・シャオシン



Photo: KillaB

今回、チェロと琵琶によるオリジナルの楽曲を演奏します。印象主義音楽のハーモニーとメロディ、アフリカ各地の様々なリズム、アジア独特の音色と空間、現代社会の様々な荒唐無稽さや狂気を融合した作品になっています。
リー・ダイグオ

リー・ダイグオ **Li Daiguo**  
1981年アメリカ生まれ。雲南省大理在住。5歳でバイオリン、その後二胡、琵琶、コントラバス、チェロなどを始めた。サンディエゴ州立大学で文学と音楽を専攻。中国の古典楽器と西洋の楽器を自由に操る類稀なミュージシャン。

スン・シャオシン **Xiaoxing Sun**  
劇作家、演出家、批評家。1986年生まれ。中央戯劇学院卒業。天津音楽学院演劇映画科講師。中国の小劇場やインディペンデントの劇団などを紹介した著書『Re-Theatreインディペンデント演劇の都市地図』を執筆。2015年劇団en?（这是怎么回事?怎么变这样?）を旗揚げ。16年『サイバー劇場計画』を発表。FIT14シンポジウム「中国・北京-同時代の小劇場シーン-」に登壇。

『**秋音之夜**

“**Autumn Sounds Night**”

出演：  
**リー・ダイグオ**  
**シャオ・イエンペン**  
**ワン・モン**  
**ノヴァハート**

Performers:  
**Li Daiguo, Shao Yanpeng (aka SHAO), Meng Wang, Nova Heart**

11.3 Fri - 11.4 Sat  
スーパー・デラックス

今回、チェロと琵琶によるオリジナルの楽曲を演奏します。印象主義音楽のハーモニーとメロディ、アフリカ各地の様々なリズム、アジア独特の音色と空間、現代社会の様々な荒唐無稽さや狂気を融合した作品になっています。
リー・ダイグオ

リー・ダイグオ **Li Daiguo**  
1981年アメリカ生まれ。雲南省大理在住。5歳でバイオリン、その後二胡、琵琶、コントラバス、チェロなどを始めた。サンディエゴ州立大学で文学と音楽を専攻。中国の古典楽器と西洋の楽器を自由に操る類稀なミュージシャン。

ここ数年、日本のアーティストの影響を受けて創作しています。例えば、音楽でいうと坂本龍一、池田亮司、建築だと安藤忠雄、アーティストだと杉本博司など。また、90年代に流行ったロックを聞いて育ちましたし、エレクトロニックでいうと、IDM（インテリジェント・ダンス・ミュージック）、ミニマル・ミュージックやテクノの影響を受けています。私の音楽はテクノをベースに、抽象的または深奥な空間に表現を刻むようなものです。

シャオ・イエンペン

シャオ・イエンペン **Shao Yanpeng (aka SHAO)**  
1981年生まれ。2007年Chinese Music Media Awardsにて「ベスト・エレクトロニック・アーティスト」を受賞。ヨーロッパ各地でライブ活動を展開、演劇、ダンス作品への楽曲提供も行う。15年には中国人として初めてドイツのレーベル「トレンザ」に契約した。



まだ喋れないくらいの子供の頃から、「一休さん」や「恐竜戦隊コセイドン」などの日本のアニメやテレビドラマを見て育ちました。また、これまで数多くの日本のアーティスト、映画監督、漫画家、ミュージシャン、デザイナーから影響を受けてきました。今回、初めて日本に行きます。ライブ後に旅行も予定しているので、今から初来日ライブと旅行を楽しんでいます。今回のライブを楽しんでくれたら嬉しいです。
ワン・モン

ワン・モン **Meng Wang**  
ニューメディア・アーティスト。「アトミック・ビジュアル・スタジオ」創業者。シャオ・イエンペンとのコラボプロジェクト「The Shape of Sound」はドイツ、スイス、スペインなどのフェスティバルで発表されている。その他、中国の演劇作品にマルチメディアを提供。

私たちはこれまで世界各地をツアーで周り、各国のフェスティバルに出演してきた、海外での知名度が高い中国のバンドです。フォン・ハイニンの優美で繊細な歌声、ポーシュエンの時に掴みどころのない、時にクレイジーなギター、シー・ルーのリズミカルで爆発力を兼ね揃えたドラム。お客さんの心をつつライブ、それはデビッド・リンチの映画のような特異な世界のようにもあります。

ノヴァハート

ノヴァハート **Nova Heart**  
別のバンドで活躍していた三人が2010年に北京で結成したバンド。エレクトロニックやオルタナティブの要素を兼ね揃えた、ポップでロックな楽曲を発表。15年、中国のバンドとして初めてイギリスの音楽フェス、グラストンベリー・フェスティバルに参加。Rolling StoneやCNNなど欧米のメディアにも紹介されるなど、海外からの注目度は高い。

トーク:**写真、ユースカルチャー、音楽、ファッション**

**Talks: Photography, Youth Culture, Music, Fashion**

各分野の先駆者が自ら語る中国ミレニアルズとその近未来

日本のメディアがほとんど取り上げない、中国の今後を牽引するミレニアルズの実態をトークからも読み解く。4つのテーマのもと、今の中国のカルチャーシーン、ミレニアルズの動向をそれぞれのプロフェッショナルに聞く。

企画・進行：小山ひとみ（フェスティバルトーキョー） 通訳：樋口裕子（Yuko Higuchi）、サミュエル周（Samuel Zhou）

「**中国写真の世界 —ミレニアルズの写真家と自費出版の現状—**」  
**Chinese Photography Now: Millennial Photographers and Self-Publishing**  
10.28 Sat スーパー・デラックス

私は出版の機会に恵まれない中国の若いアーティストのために、2011年からこれまで20冊の本を作ってきました。そしてこれらの本を、ニューヨーク、東京、パリ、ハンブルクのブックフェアなどで出展し、反響を呼びました。今年是中国の寧波（ニンボー）に図書館と書店を開き、海外の一流の写真に関する本を紹介しています。「本当の中国を世界に、本当の世界を中国に知ってほしい」この想いから活動を続けています。
イエン・ヨウ

「**インディビジュアライゼーション:チャイナ・ユースカルチャーの流れ**」

**Individualization: The Evolution of Chinese Youth Culture**  
10.29 Sun スーパー・デラックス

改革開放を起点として、中国社会ではインディビジュアライゼーション（個別化・個性化）が進行しています。その中で人々は「自分は何者で、どのような人生を送るべきなのか」という問いに対する答えを探し続けています。そして、若者の答えが、中国社会に変化をもたらしているのです。2008年に設立した「青年志（China Youthology）」は、中国の若者の変化やビジネスと消費文化の変化を追い続け、整理してきました。今回、みなさんに紹介できるのを楽しみにしています。
チャン・アンディン

チャン・アンディン **Zafka Zhang**  
2008年に設立された中国の若者の生態、ユースカルチャーを研究している組織「青年志（China Youthology）」の共同創業者。ユースカルチャー研究者、サウンドアーティスト。若者の生態や文化についてのリサーチ、マーケティングを請け負っている。

「**ミレニアルズの音楽家 —彼らは世界に何をもたらすのか?—**」  
**Global Possibilities for Millennial Musicians in China**  
11.4 Sat スーパー・デラックス

今回、私が主催する音楽レーベル「Modern Sky」を一つの例にあげて、ここ数年の中国の音楽事情、ミレニアルズの音楽家の動向を中心にお話します。中国ではここ2年の間、インディーズ、フォーク、ロック、ヒップホップが盛り上がりを見せています。今回のトークがきっかけとなり、日中の文化交流がより進展することを期待しています。
シェン・リーホイ

「**中国ファッション界とミレニアルズのデザイナーの現状 —彼らの想いとは?—**」  
**The Chinese Fashion World and Millennial Designers**  
11.11 Sat あうるすぽっと ホワイエ

リウウ・シンシャー **Tasha Liu**  
セレクトショップ「長作棟梁」共同創業者。上海のファッション・フェスティバル「LABELHOOD」ディレクター。2015年と16年には「世界のファッション業界をつくる人たち」トップ500にランクイン。中国のファッション界を牽引するリーダーといえる。

リウウ・シンシャー